



ROTARY CLUB OF FUJIMI

富士見ロータリークラブ週報

第2213回例会 令和 4年 9月 9日(金)

【地区ガバナー村田貴紀公式訪問】

2022-10-7発行

2022~2023年度



国際ロータリー会長ジェニファー・B・ジョンズ
『イマジン ロータリー』

第2570地区ガバナー 村田貴紀
『地域と世界でつなぐ力を磨き奉仕を实践しよう!』

【会 長】島田敏郎

【副会長】斎藤英雄

【幹 事】桑原福治

【SAA】横田昌則

【点 鐘】 会長 島田敏郎会員

【斉 唱】 ロータリーソング「我等の生業」

【お客様】 地区ガバナー村田貴紀様
(2570パスポートRC)

【ビジター】 地区幹事 日向秀一様
(2570パスポートRC)

第2Gガバナー補佐 山崎一吉様
(朝霞RC)

【会長の時間】 会長 島田敏郎会員



みなさん、こんにちは。本日の例会は2570パスポートクラブより村田ガバナーにお越しただいております。村田ガバナー、富士見クラブへようこそいらっしゃいました。後ほど卓話を宜しく願いたします。

昨日は、私と坂本PGとでバギオ基金創立40周年記念祝賀会へ出席してまいりました。恥ずかしながら、これまでバギオ基金という言葉を目にしたことはありましたが、活動の内容まではわかっておりませんでした。今回参加して初めて活動内容をきちんと知ることができ、ロータリアンの幅広い奉仕活動に改めて関心をいたしました。

9月11日日曜日には、富士見市のボーイスカウトと合同でカントリー作戦を実施します。こちらは恒例の行事になっており、ボーイスカウトの方たちには、3. 11の募金活動にも協力をいただいております。ぜひ、みなさまご都合をつけていただき積極的なご参加をお願いいたします。



さて本日は、青少年奉仕についてお話をしたいと思っております。

青少年奉仕は、ロータリーの5大奉仕の中でも最も新しい概念です。ロータリー章典には、青少年奉仕について、「青少年が将来出現する課題を克服できるよう、私たちがロータリアンとして、青少年への奉仕、青少年の将来に対する奉仕、さらに人類全体への奉仕を通じてさまざまなツールを提供しようと努力すること」と書かれています。つまり、青少年奉仕とは、ロータリーが青少年たち本人たちや彼らの将来、そして人類全体のためになることをすることで、いつかもし、彼らが苦難に直面した場合にも乗り越えることのできるような素質や環境を整えてあげることであると私は考えています。

青少年奉仕の代表的な活動の一つに、青少年交換留学制度があります。この活動の目的は、異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会を青少年たちに提供することで、彼らが世界平和の架け橋になってくれるよう支援することです。

これまで富士見ロータリークラブでも多くの交換留学生を受け入れてきました。交換留学生は高校生であり、大学生くらいまでは、ローテックスとしてロータリーと関わる機会が用意されています。

しかし、彼らが大学卒業後にどのような職業を選択し、どのような生活を送っているのかを把握することはあまりできていないのが現状です。

これは非常に「もったいない」ことだと思います。彼らが社会に出てどのような活躍をしているのかをしっかりと把握することは、ロータリーの青少年交換の効果を測ることになるだけでなく、未来の交換留学生たちに「こんな人になりたい」という目標像を示すことにもなるのです。

今後は、そういった仕組みづくりも考えていく必要があると思います。

では、なぜ本日、青少年奉仕についてお話ししようと思ったのかをお話します。

先日、あるニュース番組でウクライナ軍に拘束されたロシア人兵士に取材した様子が放送されていました。1人のロシア人兵士は、「軍事訓練だと聞いて参加した。ウクライナ軍に攻撃されて初めて、これが戦争だと気がついた。早く家に帰りたい。」と話していました。

これを見て私は、果たしてどれだけのロシア国民が、ウクライナとロシアの戦争のこと、ロシアの世界的な立場を知ることができているのだろうかを改めて考えさせられました。

「井の中の蛙大海を知らず」という言葉がありますが、これだけ情報が進んだ世の中であっても、自国の中にいるだけでは、客観的な目で世界や自分の国を知ることが難しい場合があります。

子どもたちの生きる未来が平和であってほしいと、おそらく誰もが願っているのに、戦争がなくなることはありません。

青少年奉仕の最終的な目標は、この世界平和という願いを叶えることだと思います。

先ほど紹介した青少年交換もそうです。青少年たちが広い世界を知り、世界から見た日本を考え、世界中に友達を作ることが世界平和へ繋がるのです。そのきっかけと道標を用意するのが、私たちロータリーの役割です。

来年度には富士見ロータリークラブでも青少年交換の受け入れが決まっています。交換留学生にとっても、私たちにとっても有意義な青少年交換となるよう準備を進めていければと考えております。

では、本日もどうぞ、よろしく願いたします。

【幹事報告】 幹事 桑原福治会員

1) 例会変更とプログラムの件

1. 新座RC

9月 1日 (木) ⇒ 例会取消 定款による

9月15日 (木) ⇒ 通常例会

9月22日 (木) ⇒ 移動例会「地区大会」

9月29日 (木) ⇒ 例会取消 定款による

10月 6日 (木) ⇒ 通常例会「ガバナー補佐訪問」

10月13日 (木) ⇒ 例会取消 定款による

10月20日 (木) ⇒ 通常例会「ガバナー公式訪問」

10月27日 (木) ⇒ 例会取消 定款による

※新型コロナウイルス感染防止による措置

2. 朝霞キャロットRC

9月12日 (月) ⇒ 例会場 (スマイルホテル) 午後7時 ガバナー公式訪問

9月26日 (月) ⇒ 地区大会へ振替

3. 当クラブ

(第7回の理事会議事録は会員の皆様に配布)

9月 9日 (金) 地区ガバナー公式訪問
村田貴紀様 (パスポートRC)

お客様 地区ガバナー村田貴紀様
(パスポートRC)

ビジター第2Gガバナー補佐 山崎一吉様
(朝霞RC)

地区幹事 日向秀一様(パスポートRC)

11日(日) カントリー作戦 有志の参加

集合時間 9時 場所 富士見市図書館藤棚前
服装 クラブの帽子着用

16日(金) 定款による例会取止め

22日(木) 2570地区地区大会リモートで参加

23日(金) 祝日につき休業

30日(金) 夜間移動例会 卓話 北川正恭氏

開会点鐘 18:30 閉会点鐘 19:30 ピアザふじみ
10月 7日(金) クラブフォーラム 戦略計画委員会

点鐘 12:30 例会場 第8回理事会

14日(金) 定款による例会取止め

21日(金) 卓話 米山記念奨学生オダヒョン

点鐘 12:30 例会場

28日(金) 夜間移動例会 点鐘 18:30

卓話 阿部晋一郎元会員

ピアザふじみ

11月 4日(金) 定款による例会取止め

11日(金) セミナー報告 各委員会

第9回理事会

(変更の可能性あり)

18日(金) 卓話 R財団奨学生(予定)

25日(金) 定款による例会取止め



2) 次の書類を閲覧します

1. RI第2570地区2022～23年度地区大会ご講演者 中村靖治様のロータリー・経歴書と追加申し込みのご案内
2. 地区大会Zoomご出席申込書（閲覧いたしますのでご記入ください）
3. 富士見市青少年育成市民会議 会員だより第52号

【出席報告】委員長 吉原孝好会員

9月 9日	正会員数	免除会員	出席率
会員数	24名	10名	
出席数	21名	8名	89.9%

【ニコニコBOX】委員長 吉原孝好会員

本日全出席会員より

RI2570地区ガバナー村田貴紀様、地区幹事 日向秀一様、第2Gガバナー補佐 山崎一吉様ようこそ富士見ロータリークラブにお越し戴ました。村田ガバナーにおかれましてはこの後、卓話を宜しくお願い致します。

齋藤 茂会員

誕生月にて。

深谷雅良、涌井英樹会員

前回欠席につき。

本日合計¥31,000



【卓話】 2570地区ガバナー 村田貴紀様



本日は公式訪問例会となります。公式訪問にあたり会長幹事様を始め会員皆様のご協力によりこのような公式訪問の場を設営して頂きましたことこの場をお借りしまして心より感謝申し上げます。

富士見ロータリークラブの皆様におかれましては、今日までの永きにわたり、「奉仕の理想」のもと国際交流や青少年の育成など奉仕活動を通して地域の「質」を高めていただいております。歴代会長をはじめ会員の皆様方のご尽力に、心から敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。

今年度の国際ロータリーテーマ 「イマジンロータリー」今年度国際ロータリー会長であるジェニファージョーンズ氏。カナダのオンタリオ州にありますウィンザーローズランドR Cの会員でございます。

メディアストリート創業者兼社長であり、ウィンザー大学の理事長など様々な職歴をお持ちの方でございます。「過去は想像できません。未来を想像してくださいと申しております。」

国際協議会にて研修を受け、国際ロータリーの年次目標達成に向けて地区スローガンを「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を实践しよう」といたしました。

一人一人が、いかに明るい未来を想像し奉仕をすることかと思えます。

規定審議会

国際ロータリーの規定審議会は、2022年4月10日～14日に、米国イリノイ州シカゴにて開催されました。新型コロナウイルスへの配慮により、ハイブリッド形式の会合が企画・実施され、600名近い参加者を対象に対面式とバーチャル形式の同時開催を実現するための新しいプロセスが採用されました。

採択制定案 22-13

会員がクラブの所在地域に住居または事業場を有する要件を削除する件

採択制定案 22-46*

人頭分担金を増額する件
国際ロータリー細則を次のように改正する。

第18章 財務事項

18.030. 会費

18.030.1. 人頭分担金

2019-20 年度半年ごとに米貨34 ドル

2020-21 年度には半年ごとに

米貨34 ドル50セント

2021-22 年度には半年ごとに米貨35 ドル

2022-23 年度半年ごとに米貨35 ドル50 セント

2023-24 年度には半年ごとに

米貨37 ドル50 セント、

2024-25 年度には半年ごとに

米貨39 ドル25 セント

2025-26 年度に半年ごとに米貨41 ドル。

人頭分担金は、規定審議会によって改正されるまで変更されないものとする。

【2022-2023年度 地区強調事項】

1. 「適応と改革を推進」

革新的なクラブまたは活動分野に基づくクラブ新設や変化をしましょう。

2. 「デジタル化の促進」

ロータリー活動が止まることのないようハイブリッドを導入しましょう。

オンラインでの研修や会議なども良いところ悪いところを合わせ持っておりますが、全国や世界とオンラインにて「つながる」ことにより「奉仕への機会創出」になっている部分もございます。やはりオンラインでは充足できないリアルな良さも十二分でございます。リアルとオンラインを併用して頂き有事の際にも適応できることが重要です。

「ロータリー活動が止まることないようにしましょう」

3. 「国際ロータリーで推進しロータリー財団で達成を目指す」

地区補助金・グローバル補助金を活用し地域や世界とつながりましょう。

4. 「DEI（多様性・公平さ・インクルージョン）を推進」

さまざまな障壁を取り除きましょう。（インクルージョンは会員増強のカギ）

DEIの推進が最重点項目となっております。DEIの推進をお願い致します。

「全てを受け入れる体制を強化しよう」

5. 「行動規範の徹底」

ハラスメントをなくしましょう。影口・悪口・誹謗中傷はなくしましょう。

ロータリアンの行動規範とDEIの行動規範がございます。公式名簿の裏表紙にも長きに渡り記載されていた奉仕の理念（理想）がございます。

「思いやる気持ちを持ち人のために尽くす」とあります。特にロータリアンの行動規範第4項・5項に注視して頂きたく思います。

「改めてハラスメントのない地区を目指しましょう」

8. 日本のロータリーの会員数現状

最大 1996年 129568人
最小 2013年 86462人（33%減）

2019年6月 87544人 -253人
2020年6月 85243人 -2301人
2021年6月 83392人 -1851人
2060年 0人 絶滅



想像をしてください。クラブの5年後、10年後もしくは15年後…、クラブ会員は増えていますか？時代に即した魅力あるクラブになっているでしょうか？そのために、クラブは戦略計画を、そして未来計画を立ててください。

地域内にある他団体ともつながり、奉仕を実践してください。人道的支援活動を実践するためにロータリー財団の地区補助金を是非活用し、地域社会さらには世界とのつながりを持ち、ロータリーの目的でもある「知り合いを広めることにより奉仕の機会とすること」を実践しましょう。共にRI年次目標達成のために、力を合わせましょう。

R I会長も「ロータリーは、組織全体の多様性・公平さ・インクルージョンを推進するために、今こそ次の一歩を踏み出すべきです」と申しております。

この言葉を最後に致しまして公式訪問卓話を終わらせて頂きます。
1年間宜しくお願い致します。

【点鐘】会長 島田敏郎会員

例会日	毎週金曜日
時間	12:30～13:30
事務所	〒354-0022 富士見市山室2-10-10 島田ビル201号
電話	049-251-6596 FAX049-252-3848
例会場	島田ビル1F
Eメール	fujimi-rc@nifty.com

会報・IT委員会 週報担当:涌井英樹
委員長:涌井英樹 副委員長:西崎哲章
委員:羽石 隆 浅見隆広